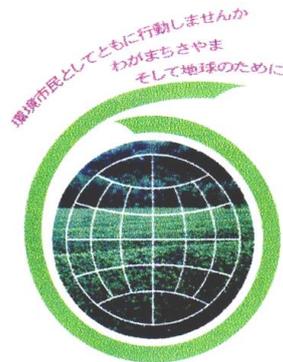


# 特定非営利活動法人 さやま環境市民ネットワーク



## 第13回通常総会

●日 時：2020年5月17日（日）

※新型コロナウイルス感染の非常事態宣言をふまえ、

総会は会場に集まるのを避け、書面表決方式に変更します。

## 議 案 書

議案第1号 2019年度事業報告

議案第2号 2019年度決算報告及び監査報告

議案第3号 2020年度事業計画案

議案第4号 2020年度活動予算案

議案第5号 2020年年度役員体制案

# 議案第1号 2019年度事業報告

## ＜基本方針＞

本年度掲げた「基本方針」に対する評価は、次のとおりです。

- ①狭山市の「第2次環境基本計画」及び「協働によるまちづくり条例」をふまえ、市民が主体的に取り組むことが望まれる事業を主体に展開する。また、「2030 アジェンダ」で示された持続可能な開発目標（SDGs）も視野に入れつつ行動していくことにします。  
→前者についてはおおむね目的を達成することができました。後者については環境月間展示や環境団体交流会において本法人としての取組みを市民や会員に紹介しました。また、今後の中長期戦略を策定すべく検討を始めました。次年度中には結論を出したいと考えています。
- ②緊縮予算のもと、経費の削減に努める一方、収入増にも取り組み、継続的な事業運営に努める。  
→環境ウォークでは観光協会から助成金を、事業者から協賛金を得ました。またLIGHT DOWN IN SAYAMAでは参加者から寄付を得る等の努力により、おおむね目的を達成することができました。
- ③会員の定着と拡大に努める。特に企業や団体の加入に努める。また、新たに創設した特別会員の加入を促進する。  
→若干の新規加入があったものの、高齢化で退会者もあり、会員数は164名（昨年度：165名）と横ばい状態にとどまりました。特別会員についてはPR不足もあり加入はありませんでした。原因を分析して、会員及び特別会員の増加に努めます。
- ④会員の活動への参加を促進するとともに、若い世代の環境まちづくりへの参加を促進する。  
→環境ウォークでは西武文理大学の学生参加協力を得ました。
- ⑤環境まちづくりに関わる市民団体への支援とともにネットワーク化を促進する。  
→支援活動は少なかったものの、「環境団体交流会」の開催により、環境団体相互の意見交換を通じて課題の共有を図るとともに、交流を促すことができました。
- ⑥環境まちづくりの推進を担う中核的人材の発掘・育成を図る。  
→尽力しましたが中核的人材の確保には至りませんでした。引き続き、環境サロンなどで市民とのふれあい機会を増やすなど努力していきます。

※新型コロナウイルス感染症の影響で年度末の会合や催しを中止せざるをえませんでした。

## 1) 諸会議

- ・総会：第12回通常総会を5月に開催
- ・理事会：4月に開催（総会に付議すべき事項を議決）。
- ・運営委員会：12回開催（原則、毎月第2火曜日、3月の会合は休会）。

## 2) 事業

表－1 2019年度事業の概要

事業区分	事業内容
1. 情報提供・情報交流	①広報紙などの発行（継続） ・会報「さやか」の発行（年4回発行）。 ・広報「じゅんかん」の発行（ごみ減分科会、年4回発行）。 ・予定していた事業案内「2019年度版」の発行は見送りました。
	②ホームページ等の管理運営（継続） ・ホームページを活用し、全体事業や各分科会事業の情報や環境関連情報等を随時更新。
	③環境サロンの運営（継続） ・毎月1回開催、ゲストスピーカーによる講話もまじえながら自由闊達な議論及び交流を促す（参加者数：220名）。 ・特別テーマにもとづく環境サロンとして西武造園（株）の協力を得て国営昭和記念公園において「富良野自然塾東京校の環境プログラム体験会」を開催。
	④環境団体との交流を促進（継続） ・市内の環境団体の交流の場として「環境団体交流会 2019」を開催（参加団体数 25 団体、参加者数：48 名）。 第1部：さや環におけるSDGsの取組みを報告（4分科会より）

	<p>第2部：話題提供「プラスチックの環境汚染問題～市民にできること」 （土淵昭）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ティータイムでは栗原理沙さんと成田美侑紀さんによるマリンバと打楽器の演奏を楽しむ。</li> </ul> <p>⑤その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さいたま緑のトラスト協会（緑の分科会）、荒川流域ネットワーク（川分科会）、埼玉県温暖化防止活動推進センター及び西埼玉温暖化対策ネットワーク（温暖化対策分科会）などと連携して環境活動を推進。</li> <li>・イオン狭山武蔵店「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に団体登録し、本法人の活動をPRするとともに活動支援を受けた。</li> <li>・その他、適宜、さや環の団体会員をはじめ、市内の環境保全団体との交流を促進。</li> </ul>
<p>2. 教育・普及啓発</p>	<p>①マイタウンソーラー発電所建設の推進（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの4カ所の発電所の建設を足掛かりに発電事業に関する普及啓発を推進し、5号機の建設候補地を模索しましたが見つかりませんでした（温暖化対策分科会主導）。</li> <li>・1月、新狭山自治会に2号機の引渡し式を開催。</li> </ul> <p>②環境ウォークの開催（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月、入間川の水に育まれた笹井地区を舞台に環境魅力を体感する「環境ウォーク2019」を開催（参加者：約100名）。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>③環境まちづくり資源マップの作成（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・狭山市が2017年度から始めたシティプロモーションの動きも視野に「環境まちづくり資源マップの作成とその活用」についての検討予定でしたが着手しませんでした（緑の分科会主導）。</li> </ul> <p>④出前環境講座の開催（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の公民館の要請に応じて下記の環境講座を出前（延べ14回）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館：環境にやさしい物づくり</li> <li>水野公民館：里山ウォーク</li> <li>入曽公民館：貴方から始まるごみの減量・資源化、間伐材活用の工作</li> <li>新狭山公民館：貴方から始まるごみの減量・資源化、エコキッチン</li> <li>広瀬公民館：貴方から始まるごみの減量、段ボール堆肥</li> <li>狭山台公民館：家庭に潜む有害物質、廃油から石鹸づくり</li> <li>富士見公民館：廃油から石鹸作り、バイオマスの話、エコキッチン</li> <li>奥富公民館：環境カルタ取りと環境のごみ小話</li> </ul> <p>⑥その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会報「さやか」や広報「じゅんかん」を活用し、環境関連イベントなどを通じて普及啓発活動を推進する。また、リサイクルプラザのスペースを活用した普及啓発活動も検討する。</li> </ul>
<p>3. 連携及び協働の推進</p>	<p>①狭山市リサイクルプラザ展示コーナー等運営業務の受託（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不用品・再生品の展示・頒布、不用品登録・斡旋、施設案内、各種体験教室の開催等。3月は新型コロナウイルスにより臨時休館。</li> </ul> <p>展示コーナー等来場者数： 18,699名（昨年度：23,463名）</p> <p>不用品持込点数： 45,874点（昨年度：47,286点）</p> <p>不用品頒布点数： 33,552点（昨年度：37,833点）</p> <p>総売り上げ： 4,640千円（昨年度：5,061千円）</p> <p>*年間通しての来場者の減少と3月の休館で来場者数は激減。これにより不用品の持込・頒布・売上も減少した。</p> <p>体験教室：24回,152名参加（昨年度 21回、153名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量普及啓発活動推進のため、毎月1日を（仮）啓発の日としたが、市民への周知が進まず、各回0～5人の参加にとどまった。</li> </ul>

	<p>②狭山市環境課からの環境保全活動事業の受託（継続）      &lt;「エコライフDAY さやま」の普及推進（温暖化対策分科会主導）&gt;      ・夏のエコライフDAY 参加者：15,490名（昨年度：10,994名）      冬のエコライフDAY 参加者：17,452名（昨年度：10,596名）      計32,942名（多くの市民に温暖化対策への気づきを促す）      ・小中高大学生からの環境標語及び川柳応募者：382件（昨年度：455件）、優秀作品を表彰22件（昨年度：20件）      &lt;市や地域イベント等における普及・啓発及び環境教育企画の推進（温暖化対策分科会主導）&gt;      ・狭山新茶と花いっぱいまつり、リサイクルマーケット春・秋、新狭山北口スカイロード祭りで環境コーナーを出展。      ・夏の省エネをねらった新企画として智光山公園にて夕涼みがてら新月の夜空を楽しむ「LIGHT DOWN IN SAYAMA」を開催（参加者：約100名、星座観察では中央児童館の協力を得る）      &lt;河川を活用した環境学習の支援（川分科会主導）&gt;      ・入間川小学校の5年生を対象に、入間川における環境学習を支援した。</p> <p>③狭山市社会教育課からの環境学習講座企画運営業務の受託（継続）      ・中央公民館及び各地区の公民館と連携し、緑、川、ごみ減量、温暖化対策、環境まちづくりをテーマに「環境にやさしいライフスタイル講座」を年6回開催（参加者：168名）      8月：夏休み子供教室・間伐材利用の竹細工（23名参加）      8月：森の散策と木工クラフト教室（35名参加）      8月：環境にやさしい地元企業（シチズン時計マニュファクチャリング（株）狭山工場）の見学（35名参加）      9月：入間川の学習（20名参加）      12月：森の木を切る体験学習（28名参加）      1月：台風激化と私達にできる事（27名参加）</p> <p>④狭山市・さいたま緑のトラスト協会等との連携・協働（継続）      ・緑のトラスト保全第9号地（緑のトラスト狭山）の管理運営に協力、椎茸のコマ打ちと椎茸狩りを共催（緑の分科会主導）。      ・水野の森で開催されるロッジ水野の森保全委員会&amp;水野公民館主催の「第6回里山ウォーク」に共催者として協力（緑の分科会主導）。</p> <p>⑤「市民との協働による燃やすごみ大幅削減プロジェクト」の推進（継続）      ・昨年度に引き続き、燃やすごみの大幅削減をめざし、資源循環推進課と協働し、「有機性廃棄物処理研究会」において調査研究を推進（ごみ減&amp;温暖化対策メンバー主導）</p> <p>⑥環境まちづくりの推進に向けた行政との意見交換の促進（継続）      ・狭山市議会の建設環境委員会のメンバーと「狭山市における特定外来種への市民の対応」について意見交換。      ・古紙・古布の資源化に関し、資源循環推進課と協議をしつつ、それを推進（ごみ減量分科会主導）。      ・狭山市環境課と協働し、サクラ等を枯損させるクビアカツヤカミキリの市内侵入を防止する啓発活動を展開（緑の分科会主導）      ・狭山市河川課と入間川とことん活用や不老川の改修について意見交換（川分科会主導）</p> <p>⑦その他、関係団体などとの連携・協働      ・狭山まちづくリストの会が企画する「さやまちゃりんこフェスタ」や「義高ウォーク」に協力。      ・西埼玉温暖化対策ネットワークと共催で草加煎餅会社、獨協大学、ダンボールメーカーのレンゴー（株）の見学と質疑（参加者：34名、温暖化対策分科会主導）      ・その他、適宜、関係団体との連携・協働を推進。</p>
4. 相談助言及び支援	・特になし
5. その他調査研究・提言等	<p>・入間川の魚類調査（第2次環境基本計画に掲げられている入間川における魚類生息種の調査・確認）      ・彩の国埼玉環境大賞に理事の土淵昭氏を推薦し、環境まちづくり活動と次世代の担い手育成に長年貢献したとして県民部門（個人）で奨励賞を受賞。</p>

# 議案第2号 2019年度活動決算報告及び監査報告

2019年4月1日から2020年3月31日まで (単位:円)

科目	金額			備考
	昨年度実績	予算	決算	
<b>I. 経常収益</b>				
1. 受取会費	416,000	418,000	437,000	※1
2. 受取寄付金	1,333,208	35,000	48,070	会員他、新規市民発電所等
3. 受取委託金	4,479,300	4,543,000	4,574,310	※2
4. 受取助成金	60,000	60,000	21,140	観光協会他
5. 受取補助金	600,000	0	0	
6. 売上金	285,135	300,000	271,921	ソーラー発電、バケツ、絵本他、
7. 受取謝礼金	88,000	90,000	73,000	出前講座等(内部だぶりを除く)
8. 受取参加費	470,250	500,000	359,300	環境サロン、環境団体交流会他
9. 協賛金	253,911	150,000	60,000	環境ウォーク
10. 受取利息	24	24	23	三菱 UFJ:5、武銀:18
11. 市民発電所積立金	185,692	200,000	220,000	市民発電所4号機対応
<b>経常収益計</b>	<b>8,171,520</b>	<b>6,296,024</b>	<b>6,064,764</b>	
<b>II. 経常費用</b>				
1. 事業費				
(1)人件費	3,769,140	3,800,000	3,902,150	
1. 給与、手当	3,769,140	3,800,000	3,902,150	リサイクルプラザ(下期消費税 UP)
(2)その他経費	3,808,951	1,972,000	1,731,442	
1. 支払謝礼金	563,134	570,000	620,604	講師、スタッフ
2. 交通費	62,000	65,000	64,116	見学会等
3. 消耗品費	305,637	310,000	187,295	印刷用紙等
4. 会議費	51,690	52,000	41,500	会場費
5. 設備費	2,335,735	360,000	353,175	市民発電所4号機対応、他
6. 印刷費	80,742	95,000	92,153	資料印刷、パンフレット増刷
7. 通信費	76,177	77,000	77,107	資料送付、他
8. 渉外費	60,000	60,000	14,900	協働団体
9. 保険料	4,200	5,000	4,760	各種イベント
10. 支払会費	3,000	3,000	3,000	協働団体
11. 調査研究費	24,941	25,000	6,933	各種研究
12. 雑費	241,695	250,000	265,899	その他費用
13. 予備費		100,000	0	
事業費計	7,578,091	5,772,000	5,633,592	
2. 管理費				
(1)人件費	0	0	0	
(2)その他経費	470,635	521,500	456,718	
1. 謝礼金	233,000	250,000	227,000	担い手謝礼 ※3、他
2. 交通費	100,700	130,000	114,000	担い手交通費 ※4
3. 消耗品費	23,879	24,000	13,169	印刷用紙等
4. 会議費	4,200	4,500	4,800	総会、運営委員会
5. 印刷費	16,778	17,000	6,250	総会資料印刷等
6. 設備費	0	0	0	
7. 通信費	7,700	10,000	10,719	総会資料送付等
8. 保険料	42,352	43,000	42,600	NPO 保険
9. 支払会費	28,000	28,000	18,000	協働団体
10. 渉外費	13,000	13,000	18,300	交流会、賀詞交換会参加
11. 雑費	1,026	2,000	1,880	その他費用
管理費計	470,635	521,500	456,718	
<b>経常費用計</b>	<b>8,048,726</b>	<b>6,293,500</b>	<b>6,090,310</b>	
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>122,794</b>	<b>2,524</b>	<b>-25,546</b>	
<b>前期繰越正味財産額</b>	<b>3,289,048</b>	<b>3,226,150</b>	<b>3,226,150</b>	
<b>正味財産</b>	<b>3,411,842</b>	<b>3,228,674</b>	<b>3,200,604</b>	
<b>市民発電所積立金取崩額</b>	<b>185,692</b>	<b>200,000</b>	<b>220,000</b>	
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>3,226,150</b>	<b>3,028,674</b>	<b>2,980,604</b>	

※1 2020.3.20.現在、個人 128/団体 14/事業者 22 計 164

※2 狭山市との委託契約:リサイクルプラザ、環境保全活動、社会教育

※3 担い手謝礼金:代表(15,000円)、副代表、事務局長、会計、企画、HP、環境サロン、環境保全、社会教育、分科会(以上 12,000円)、但し兼任の場合は減額)、監事(3,000円)、その他常在スタッフ

※4 役員及び常在スタッフで、出席度数に応じて

## 別表1 本部会計

	科目	金額	備考
経常収益	受取会費	437,000	現金 336,000 預金 101,000
	受取寄付金	12,000	会員
	売上金	48,600	環境絵本、環境カルタ、生ごみバケツ
	受取謝礼金	73,000	出前講座謝礼振込金(武銀 51,000、三菱 UFJ22,000)
	受取利息	23	三菱 UFJ 5 円、 武蔵野 18 円、 ゆう貯 0 円
	<b>合計</b>	<b>570,623</b>	
管理費	支払謝礼金	227,000	担い手謝礼金、他
	交通費	114,000	担い手交通費
	消耗品費	13,169	印刷用紙、印刷インキ、その他文房具等
	会議費	4,800	総会、運営委員会等会場費
	印刷費	6,250	総会資料等
	通信費	10,719	総会資料送付等
	保険料	42,600	NPO 保険
	支払会費	18,000	協働団体会費
	渉外費	18,300	賀詞交換会参加等
	雑費	1,880	その他費用
<b>合計</b>	<b>456,718</b>		

\* 経常収益の科目は、本部関係の科目のみ取り出し。ゆう貯銀行普通口座を新規開設した。

## 別表2 マイタウンソーラー発電所4号機建設(2019年度処理分)

	科目	4号機建設費	備考
経常収益	寄付金	34,000	さや環 34,000
	事業費	220,000	積立金から 220,000 取崩
	<b>合計</b>	<b>254,000</b>	
事業費	設備費	254,000	4号機設備費分担当対応
	<b>合計</b>	<b>254,000</b>	
収支差額		0	

## 2019年度マイタウンソーラー発電所積立金

科目	発電所積立金
今期初積立金	734,198
売上高※	206,171
取崩金	-220,000
今期末積立金計	720,369

※設置自治会等から徴収する振込電気料金を計上

## 別表3 事業会計

### <情報提供・交流事業>

	科目	環境団体交流会	さやか編集委員会	環境サロン	ホームページ	合計
経常収益	受取事業費	30,000	115,000			145,000
	受取参加費	72,400		243,000		315,400
	<b>合計</b>	<b>102,400</b>	<b>115,000</b>	<b>243,000</b>	<b>0</b>	<b>460,400</b>
事業費	支払謝礼金	33,000	26,000			59,000
	交通費	400				400
	消耗品費	63,000	7,255			70,255
	会議費	1,700	4,800	13,400		6,500
	印刷費	3,925	39,391			43,316
	通信費	1,150	18,848		16,813	36,811
	調査研究		5,000			5,000
	雑費			222,053		222,053
	<b>合計</b>	<b>103,175</b>	<b>101,294</b>	<b>235,453</b>	<b>16,813</b>	<b>456,735</b>
差額	-775	13,706	7,547	-16,813	4,065	

<教育・普及啓発事業>

	科目	環境 ウォーク	分科会				合計
			緑	川	ごみ減量	温暖化対策	
経常収益	受取事業費	10,000	50,000	50,000	50,000	50,000	210,000
	受取寄付金	1,000				1,070	2,070
	受取助成金	20,000			1,140		21,140
	売上金						0
	受取謝礼金				83,000		83,000
	受取参加費	20,000		10,000	3,900		33,900
	協賛金	60,000					58,000
	<b>合計</b>	<b>111,000</b>	<b>50,000</b>	<b>60,000</b>	<b>138,040</b>	<b>51,070</b>	<b>408,110</b>
事業費	支払謝礼金	18,000	17,000	38,000	94,000	3,000	170,000
	交通費	1,000		2,100		1,276	4,376
	消耗品費	27,178	6,105	6,867	3,722	10,651	54,523
	会議費	2,240	7,500		2,950	4,800	17,490
	設備費	2,000		8,575			10,575
	印刷費	20,889	9,116	620	2,240	15,732	48,597
	通信・郵送費		840				840
	保険料	3,360				1,400	4,760
	支払会費			3,000			3,000
	調査研究費				1,933		1,933
	渉外費		6,000			8,900	14,900
	雑費				14,000	1,825	15,825
<b>合計</b>	<b>74,667</b>	<b>46,561</b>	<b>59,162</b>	<b>118,845</b>	<b>47,584</b>	<b>346,819</b>	
差額	36,333	3,439	838	19,195	3,486	61,291	

※ごみ減量の受取謝礼金と支払謝礼金の内、10,000円分は社会教育講座謝礼金なので、全体決算ではマイナス調整した。

※屋外啓発用テント2張りは都合により導入延期とした。

<連携及び協働の推進事業>

	科目	リサイクル プラザ	環境保 全 活動	社会教育 講座	バイオ処理 プロジェクト	合計
経常収益	受取委託金	4,080,500	403,810	90,000		4,574,310
	受取事業費				30,000	30,000
	売上金	17,150				17,150
	受取参加費			10,000		10,000
	<b>合計</b>	<b>4,097,650</b>	<b>403,810</b>	<b>100,000</b>	<b>30,000</b>	<b>4,631,460</b>
事業費	人件費	3,902,150				3,902,150
	支払謝礼金		332,540	79,064		411,604
	会議費				4,110	4,110
	交通費	48,000			11,340	59,340
	消耗品費	53,319	1,362	7,836		62,517
	設備費	28,600	60,000			88,600
	印刷費				240	240
	通信費	39,456				39,456
	雑費	5,480	9,441	13,100		28,021
<b>合計</b>	<b>4,077,005</b>	<b>403,343</b>	<b>100,000</b>	<b>15,690</b>	<b>4,596,038</b>	
差額	20,645	467	0	14,310	35,422	

※社会教育講座の2019年度委託金は90,000円だが、支給は2020年度となる。

2019年度は2018年度分90,000円の支給となった。

## 2019 年度 特定非営利活動に係わる事業 貸借対照表

2020 年 3 月 31 日 現在  
 特定非営利活動法人さやま環境市民ネットワーク  
 (単位:円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	64,752		
三菱 UFJ 銀行預金	623,530		
武蔵野銀行預金	2,283,814		
ゆう貯銀行預金	8,508		
未収金	0		
流動資産計		2,980,604	
2. 固定資産			
器具・備品	0		
固定資産計		0	
資産合計(A)			2,980,604
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
流動負債計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債計		0	
負債合計(B)			0
III. 正味財産の部			
前期繰越金正味財産(C1)		3,226,150	
当期正味財産増加額(C2)		-25,546	
正味財産合計(C1+C2)			3,200,604

## 2019 年度 特定非営利活動に係わる事業 財産目録

2020 年 3 月 31 日 現在  
 特定非営利活動法人さやま環境市民ネットワーク  
 (単位:円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	64,752		
三菱 UFJ 銀行預金	623,530		
武蔵野銀行預金	2,283,814		
ゆう貯銀行預金	8,508		
未収金	0		
流動資産計		2,980,604	
2. 固定資産			
器具・備品	0		
固定資産計		0	
資産合計(A)			2,980,604
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
流動負債計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債計		0	
負債合計(B)			0
正味財産(C)			2,980,604

### 流動資産の内訳

	現 金	預 金	合 計
三菱 UFJ 銀行		623,530	623,530
武蔵野銀行		2,283,814	2,283,814
ゆう貯銀行		8,508	8,508
本部会計現金	36,163		36,163
事業会計現金	28,589		28,589
合 計	64,752	2,915,852	2,980,604

## 監 査 報 告

2019年度におけるNPO法人さやま環境市民ネットワークの業務実施並びに会計処理に関する監査を実施しました。

監査の結果、事業計画は適正に実施され、それに伴う会計に関する会計簿は正しく記帳され、活動計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計簿に基づいて収支及び財産状態に関する真実な内容を明確に表示したものでありました。

2020年5月12日

監事 角田 ふで子

遠藤 日出子

## 議案第3号 2020年度事業計画

これまでの活動成果をふまえつつ、昨年度に引き続き、下記を活動方針として、中間支援組織としての役割を意識しつつ、精力的かつ戦略的に事業を推進することにします。

①狭山市の「第2次環境基本計画」及び「協働によるまちづくり条例」をふまえ、市民が主体的に取り組むことが望まれる事業を主体に展開する。また、「2030アジェンダ」で示された持続可能な開発目標（SDGs ※1）も視野に入れつつ、本法人としての中長期戦略の成案化を図り、その実現を目指して行動していくことにします。

②緊縮予算のもと、経費の削減に努める一方、収入増にも取り組み、継続的な事業運営に努める。

③会員の定着と拡大に努める。特に企業や団体の加入に努める。また、新たに創設した特別会員の加入を促進する。

④会員の活動への参加を促進するとともに、若い世代の環境まちづくりへの参加を促進する。

⑤環境まちづくりに関わる市民団体への支援とともにネットワーク化を促進する。

⑥環境まちづくりの推進を担う中核的人材の発掘・育成を図る。

⑦新型コロナウイルス感染の影響に配慮しつつ、市の対応も勘案しつつ、活動を推進することとします。

※1 わが国では2016年にSDGs推進のために実施指針を設定し、積極的にその推進を目指しています。環境分野では省・再生可能エネルギーや気候変動対策、生物多様性や環境保全等が該当します。

### 1) 諸会議

- ・総会：第13回通常総会を5月に開催（書面表決に変更）
- ・理事会：4月に開催（総会に付議すべき事項を議決。）
- ・運営委員会：12回開催（原則、毎月第2火曜日）。

### 2) 事業

表ー1 2020年度事業計画の概要

（“\*”表記の区分3. ④事業は新型コロナウイルスの非常事態宣言の影響で既に中止が予定されているもの）

事業区分	事業内容
1. 情報提供・情報交流	<b>①広報紙などの発行（継続）</b> ・会報「さやか」の発行（年4回発行）。 ・広報「じゅんかん」の発行（ごみ減分科会、年2～4回）。 ・事業案内「2020年度版」の発行
	<b>②ホームページ等の管理運営（継続）</b> ・ホームページやフェイスブックを活用し、全体事業や各分科会事業の情報や環境関連情報等を随時更新する。
	<b>③環境サロンの運営（継続）</b> ・毎月1回開催、ゲストスピーカーによる講話もまじえながら自由闊達な議論及び交流を促す。 ・別途、各分科会が特別テーマにもとづく「環境サロン」を開催し、会員のみならず一般市民との交流を促す。
	<b>④環境団体との交流を促進（継続）</b> ・市内の環境団体の交流の場として「環境団体交流会 2020」を開催する。引き続き、ネットワーク化の促進や情報発信への支援を継続する。
	<b>⑤その他</b> ・さいたま緑のトラスト協会（緑の分科会）、荒川流域ネットワーク（川分科会）、埼玉県温暖化防止活動推進センター及び西埼玉温暖化対策ネットワーク（温暖化対策分科会）などを通じて交流を促す。 ・イオン狭山武蔵店「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に団体登録し、本法人の活動をPRするとともに活動支援を要請する。 ・新型コロナウイルスに対応し、諸情報発信媒体にQRコードを活用し、ユーチューブ等の動画を含む教育・普及・啓発を行い、受信対象者を拡大。 ・その他、適宜、さや環の団体会員をはじめ、市内の環境保全団体との交流を促す。

2. 教育・普及啓発	<p>①マイタウンソーラー発電所建設の推進（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの4カ所の発電所の建設を足掛かりに発電事業に関する普及啓発を推進し、引き続き5号機の建設を模索する（温暖化対策分科会主導）。</li> </ul> <p>②環境ウォークの開催（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の環境魅力を体感する「環境ウォーク2020」を開催する。</li> </ul> <p>③環境まちづくり資源マップの作成（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>狭山市が2017年度から始めたシティプロモーションの動きも視野に、中断していた「環境まちづくり資源マップの作成とその活用」について検討する。（緑の分科会主導）。</li> </ul> <p>④出前環境講座の開催（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各分科会で主体的に公民館や学校等に働きかけたり、要請に応じて出前環境講座を開催する。</li> </ul> <p>⑤その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会報「さやか」や広報「じゅんかん」を活用し、環境関連イベントなどを通じて普及啓発活動を推進する。また、リサイクルプラザのスペースを活用した普及啓発活動も検討する。</li> </ul>
3. 連携及び協働の推進	<p>①狭山市リサイクルプラザ展示コーナー等運営業務の受託（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生品・不用品の展示・頒布、不用品登録・斡旋、施設案内、各種体験教室の開催等。</li> <li>ごみ減量普及啓発活動を推進するため、毎月1日を（仮）啓発の日とし、ゴミ減量普及啓発活動に関わる企画を推進する。</li> </ul> <p>②狭山市環境課からの環境保全活動事業の受託（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「エコライフDAY さやま」の普及推進（夏・冬の2回）、環境標語及び川柳の募集及び表彰（温暖化対策分科会主導）。</li> <li>河川（入間川）を活用した野外調査（魚類・植物・野鳥等）の実施、未実施の小学校に対する参加の促進（年3回程度、川分科会主導）。</li> <li>イベント等への参画を通じた普及啓発、創作絵本の制作とそれを活かした環境教育企画の推進、環境関連事業所の見学などの推進（各分科会で対応）。</li> </ul> <p>③狭山市社会教育課からの環境学習講座企画運営業務の受託（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館及び各地区の公民館と連携し、緑、川、ごみ減量、温暖化対策、環境まちづくりをテーマに「環境にやさしいライフスタイル講座」を年6回開催（各分科会で対応）。</li> </ul> <p>④狭山市・さいたま緑のトラスト協会等との連携・協働（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑のトラスト保全第9号地（通称：緑のトラスト狭山）の管理運営に参加協力（緑の分科会主導）。</li> <li>水野の森で5月に開催のロッジ水野の森保全委員会&amp;水野公民館主催の「第7回里山ウォーク*」に共催者として協力（緑の分科会主導）</li> </ul> <p>⑤「市民との協働による燃やすごみ大幅削減プロジェクト」の推進（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度に引き続き、燃やすごみの大幅削減をめざし、資源循環推進課と協働し、「有機性廃棄物処理研究会」において調査研究を推進（ごみ減&amp;温暖化対策メンバー主導）</li> </ul> <p>⑥「特定外来生物の駆除活動」の推進（新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サクラ等を枯損させるクビアカツヤカミキリの市内侵入を防止するため、埼玉環境科学国際センターや行政の協力を得ながら市内特定拠点への侵入有無と駆除活動を展開（緑の分科会主導）</li> </ul> <p>⑦環境まちづくりの推進に向けた行政との意見交換の促進（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古紙・古布の資源化に関し、資源循環推進課と協議をしつつ、その推進を図る（ごみ減量分科会主導）。</li> <li>その他、入間川とことん活用や不老川の改修（川分科会主導）等、環境まちづくりの推進に関わる懸案事項に関して適宜関係部局と協議しつつ事業を推進する。</li> </ul> <p>⑧その他、関係団体などとの連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>狭山まちづくりリストの会が企画する「さやまちゃりんこフェスタ」や「義高ウォーク」に協力</li> <li>その他、適宜、関係団体との連携・協働を推進する。</li> </ul>
4. 相談助言及び支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>適宜対応</li> </ul>
5. 調査研究・提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>適宜対応</li> </ul>

# 議案第4号 2020年度活動予算

2020年4月1日から2021年3月31日まで (単位:円)

科目	金額			備考
	昨年度実績	予算	増減額	
<b>I. 経常収益</b>				
1. 受取会費	437,000	435,000	-2,000	※1
2. 受取寄付金	48,070	50,000	1,930	会員他、新規市民発電所予定なし
3. 受取委託金	4,574,310	4,543,000	-31,310	※2
4. 受取助成金	21,140	21,000	-140	
5. 受取補助金	0	0	0	
6. 売上金	271,921	215,000	-56,921	市民発電所、他
7. 受取謝礼金	73,000	59,000	-14,000	出前講座等
8. 受取参加費	359,300	300,000	-59,300	環境サロン、他
9. 協賛金	60,000	60,000	0	
10. 受取利息	23	23	0	
11. 市民発電所積立金	220,000	50,000	-170,000	市民発電所維持管理
<b>経常収益計</b>	<b>6,064,764</b>	<b>5,733,023</b>	<b>-331,741</b>	
<b>II. 経常費用</b>				
1. 事業費				
(1)人件費	3,902,150	3,800,000	-102,150	
1. 給与、手当	3,902,150	3,800,000	-102,150	リサイクルプラザ
(2)その他経費	1,731,442	1,766,000	34,558	
1. 支払謝礼金	620,604	570,000	-50,604	講師、スタッフ
2. 交通費	64,116	60,000	-4,116	下見交通費、駐車料、他
3. 消耗品費	187,295	180,000	-7,295	印刷用紙、他
4. 会議費	41,500	33,000	-8,500	会場費
5. 設備費	353,175	260,000	-113,175	ビデオカメラ、プロジェクター、他
6. 印刷費	92,153	150,000	57,847	資料印刷、パンフレット作成
7. 通信費	77,107	80,000	2,893	資料送付、ホームページ維持、他
8. 渉外費	14,900	15,000	100	協働団体
9. 保険料	4,760	6,000	1,240	各種イベント
10. 支払会費	3,000	3,000	0	協働団体
11. 調査研究費	6,933	52,000	45,067	各種研究、テレワーク調査研究
12. 雑費	265,899	227,000	-38,899	その他費用
13. 予備費	0	150,000	150,000	
事業費計	5,633,592	5,566,000	-67,592	
2. 管理費				
(1)人件費	0	0		
(2)その他経費	456,718	467,000	10,282	
1. 謝礼金	227,000	220,000	-7,000	担い手謝礼 ※3、他
2. 交通費	114,000	75,000	-39,000	担い手交通費 ※4
3. 消耗品費	13,169	20,000	6,831	印刷用紙等
4. 会議費	4,800	4,000	-800	総会、運営委員会等
5. 印刷費	6,250	20,000	13,750	総会資料、案内パンフレット等
6. 設備費	0	0	0	
7. 通信費	10,719	35,000	24,281	総会資料送付、他
8. 保険料	42,600	43,000	400	NPO 保険
9. 支払会費	18,000	28,000	10,000	協働団体会費
10. 渉外費	18,300	19,000	700	交流会、賀詞交換会参加
11. 雑費	1,880	3,000	1,120	その他費用
管理費計	456,718	467,000	10,282	
<b>経常費用計</b>	<b>6,090,310</b>	<b>6,033,000</b>	<b>-57,310</b>	
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>-25,546</b>	<b>-299,977</b>	<b>-274,431</b>	
<b>前期繰越正味財産額</b>	<b>3,226,150</b>	<b>2,980,604</b>	<b>-245,546</b>	
<b>市民発電所取崩額</b>	<b>220,000</b>	<b>50,000</b>	<b>-170,000</b>	
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>2,980,604</b>	<b>2,630,627</b>	<b>-349,977</b>	

※1 2020.5.1現在、個人 126/団体 14/事業者 22 計 162

※2 狭山市との委託契約:リサイクルプラザ、環境保全活動、社会教育(協議中)。なお、支払いは活動実績に対し行われる。

※3 担い手謝礼金:代表(15,000円)、副代表、事務局長、会計、企画、HP、環境サロン、環境保全、社会教育、分科会(以上 12,000円)、但し兼任の場合は減額)、監事(3,000円)、その他常在スタッフ

※4 役員及び常在スタッフで、出席度数に応じて

## 2019年度との比較:

新型コロナウイルス感染対策下での活動予算。新規は、①ビデオカメラ(環境啓発動画作成用)、②プロジェクター(HDMI、スピーカー付)、③さや環案内パンフレット対応等。なお、3密(密閉、密集、密接)を避ける期間は、テレワークやNET配信動画作成等も考えた活動予算ですが、感染状況によっては運用見直しを予算内で協議し推進します。

## 議案第5号 2020年度役員体制

今年度、若干役員の異動がありました。どうぞよろしくお願いいたします。

役職	氏名	備考
代表理事	石田 嵩	〈再任〉事業統括
副代表理事	毛塚 宏	〈再任〉企画統括、事務局長補佐、緑の分科会リーダー
理事	近藤 彰男	〈再任〉事務局長、会計統括
	児玉 靖	〈再任〉リサイクルプラザ業務統括
	小川 泰男	〈再任〉会報「さやか」の編集
	神津 正光	〈再任〉緑の分科会サブリーダー、環境出前講座統括
	皆川 健治	〈再任〉川分科会リーダー
	福島美登里	〈再任〉ごみ減量分科会リーダー、本部行事補佐
	吉岡 勇三	〈再任〉温暖化対策分科会リーダー、HP・環境保全活動統括
	土淵 昭	〈再任〉
	青山 松之	〈再任〉緑のトラスト狭山及び環境サロン担当
	大貫 裕子	〈再任〉ごみ減量分科会サブリーダー
監事	角田ひで子	〈再任〉
	中村すぎ子	〈新任〉

※理事の中島功、野口靖雄と監事の遠藤日出子は退任